



『40周年』に寄せて

2021年4月18日



日本翻訳連盟(JTF)は1981年に創立され、今年2021年で40周年という大きな節目を迎えます。この40年間、当連盟の理事および関係者が微力を尽くしてきたことは言うまでもありませんが、当連盟がここまで発展できたのは、ひとえに会員みなさまの厚いご支援の賜物です。心より感謝いたします。また、当連盟を支えてくださった官公庁をはじめ、多くの企業・団体みなさま、そして翻訳者・通訳者みなさまにも感謝の意を表します。こうしたご支援・ご協力に因應するためにも、気持ちを新たに、業界団体として翻訳・通訳業界の持続可能な発展と健全化に取り組んでまいりたい所存です。

創立40周年を記念して、今年1年は翻訳・通訳業界の持続可能性をテーマとして、JTFの各行事(セミナーやJTF翻訳祭等)を、40周年記念イベントの一環として実施いたします。

昨年、当連盟の代表理事・会長に就任以来、心がけてきたのは、新型コロナウイルスの世界的な感染爆発(パンデミック)による活動の制約を受けながらも連盟の各種事業を継続させることでした。会場開催が基本であったJTF翻訳祭、各種セミナーをオンライン開催に切り替え、従来にも増してご参加のみなさまから好評を得られたことに安堵しております。一方、今年3月には翻訳品質の向上を目指してISO 17100の国際一致規格として日本産業規格(JIS) Y 17100が制定されました。JISとして制定されることにより、翻訳サービスや翻訳プロセスにおける品質要求事項が標準化され、品質の向上や翻訳サービス利用者の選択の目安に資することが期待されます。こうした動きについても、当連盟は連携を怠らず、業界に広く情報を共有していきたいと考えています。

当連盟の存在意義は、翻訳・通訳に携わる方々、興味を持つ方々に活動の場、議論のできる場、交流の場を提供することにあります。50周年に向け、今後もこの目的に沿うべく、業界を代表する団体として尽力していきたいと考える次第です。

最後になりましたが、翻訳・通訳に携わるあらゆる方々のご発展を祈念するとともに、これまでと同様、翻訳・通訳業界の振興・発展のためにご協力を賜るよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本翻訳連盟

代表理事・会長 **安達 久博**